

「なごの相談所」のお話 vol.22

今月のテーマ 「死亡保険の非課税枠」

あなた：こんちゃ～、先生。
 なごの：はい、こんにちは。
 あなた：この前ね、生命保険屋が保険の見直しをしようって言うんだけどね。
 俺さ、よくわかんないんだよね、保険って。
 なごの：生命保険って、いくつも種類がありますからね。
 あなた：でさ、保険屋が言うにはさ、相続税で計算するときに「死亡保険の非課税枠」
 ってのがあらしいんだよ。
 なごの：そうですね、死亡保険は「相続人×5百万円」が非課税として計算されますので、
 そのことでしょう。
 あなた：そのさ、非課税枠ってのが、俺の場合、まだ余裕があるんだって。その余裕がある分、
 一時払い保険に入れて言うんだよ。
 なごの：社長、万が一の死亡保険金はおいくらかご存知ですか？
 あなた：そんな面倒なことは、奥さんに任せてるから俺は知らないよ！
 なごの：先ほど申し上げた「相続人×5百万円」に届いていないってことは間違いないですよ。
 あなた：そうだと思うよ。
 なごの：社長、そのままにしておくのも、新しく保険に入るのも社長次第ですが、仮に1千万円の非課税枠が
 残っていて、その金額の保険に入ることができたら、相続税の節税金額って、いくらになると思いますか？
 あなた：そんな大したことないでしょ～、たかが1千万円で。
 なごの：最低でも1百万円は節税できますよ。相続税の税率が上がれば、さらに大きな節税金額となりますが、
 いかがですか？
 あなた：もっと、大きな節税・・・？
 なごの：社長が万が一のことがあって相続税を計算したとき、相続税の税率によって節税される金額も増えていくこと
 になりますので検討の価値はあると思いますよ。
 あなた：死亡保険が増えると節税になるって、知らなかったね～。
 なごの：あくまでも「死亡保険の非課税枠」に余裕がある場合ですけどね。
 あなた：だけどさ、銀行に置いといても増えやしないけど、生命保険会社に移し替えると、
 将来、最低でも10%は節税できる・・・、つまり手元に残るんだろ！
 なごの：社長、最近、計算が早くなりましたね！
 あなた：金の計算ができなくちゃ、社長は務まらないよ！
 なごの：お見逸れいたしました。



※この会話の再現は、あくまでも相談現場の会話の再現です。法律用語を、分かりやすい言葉に換えたり、細かな説明は省略させていただいております。また、実際の法律の適用においては当相談所、専門家、または各役所へご相談ください。

相続で知っておくべきこと その3

「相続放棄」



こんにちは。司法書士の林清忠です。今回も、「相続で知っておくべきこと」と題してお話させていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

相続というのは、一般には、親が亡くなった場合にその子が相続するという認識であると思います。もちろんその通りなんですけど、子の全員が相続放棄をすると亡くなった方の親が相続人となります。さらに親が既に死亡していたり親も相続放棄をすると亡くなった方の兄弟姉妹が相続人となります。その兄弟姉妹が既に死亡していると甥姪が相続人となります。また、配偶者は常に相続人となりますが、相続放棄もできます。

通常、相続放棄は「債務超過」の場合にするものです。子がいるのに兄弟姉妹や甥姪が相続人となる場合ということは、100%ではありませんが、おそらく債務超過でしょう。亡くなった方に子供がいるのに兄弟姉妹の方が「自分が相続人だ」と気が付くのは、ほとんどの場合、亡くなった方の債権者からの連絡があるからです。相続放棄をした亡くなった方が子が知らせてくださると、債権者からの連絡でびっくり!! しくなくてもよくて、且つ、相続放棄の手続きが早くできるのですが、私の経験上、知らせてくださる方は(いないことはありませんが)少数派だと思います。こんなとき、頭にきて「一言文句を言うてから」とか「手続き費用を払わせる」とかになってしまいかもかもしれませんが、相続放棄は、「自己のために相続の開始があったことを知った時から3か月以内」にしなければならぬので、すぐに手続きをしてください。

ビッグデータって何? ～ビジネスに活用するための基礎知識

ITサービスの普及にともない、2010年ころから“ビッグデータ”という言葉が散見されるようになりました。今や企業だけでなく国や自治体でも活用され、防災や警備などにも役立てられているこのビッグデータとは、いったいどのようなものを指す言葉なのでしょう。ビッグデータの定義と、ビジネスに活用するための基礎知識を見てみましょう。

ビッグデータって一体なに?

各企業や自治体によって扱うデータが異なる為、明確な定義はないものの、一般的には以下の『3V』の定義が浸透しています。

- 1) Volume (量) : 数十テラバイト (*1) ~ 数ペタバイト (*2) 級の膨大な量のデータ
- 2) Velocity (速度) : 膨大な量のデータを分析するための高速なインプット・アウトプット
- 3) Variety (種類) : 文字や数字だけでなく、映像や位置情報なども含めた豊富なデータ

- 例)
- ・オフィスの文書やメール
 - ・SNSのコメントや画像、動画、音声
 - ・ECサイトでの購入履歴
 - ・スマートフォンやインターネットを介した位置情報や行動履歴
 - ・ホームページやテレビの閲覧・視聴履歴
 - ・販売情報などの売上記録
 - ・ポイントカードの会員情報など

さらに、上記の3要件に加え、最近では『Value (データの価値)』と『Veracity (データの正確性)』を加えた『5V』が提唱され始めています。ではこれらのデータをどのように分析すれば、私たちのビジネスに活用することができるのでしょうか。

ビッグデータの主な分析方法とは?

●アソシエーション分析

アソシエーション分析とは、一見、無関係にみえる事象から“関連性”を導きだす分析手法です。

事例) あるスーパーマーケットで販売データを分析したところ、紙オムツとビールは一緒に購入される傾向があると判明。調査の結果、紙オムツの買い出しを頼まれた父親がビールも同時に買っていたことが要因だと分かり、2商品を並べて販売したところ、売上が上昇した。このように一見関係のなさそうな複数の商品や事柄の関連性を導きだすことで、消費者の行動パターンを探り、ニーズをつかむことができるのです。

●バスケット分析

バスケット分析とは、消費者がバスケット (ECサイトの「買い物かご」など) に入れた商品を分観察することで、消費者の購買パターンを分析する方法です。“何と何が一緒に買われているかを探ることで、同様の嗜好を持った消費者の潜在的ニーズを探りだすことができます。

事例) ある二つの商品が一緒に購入されている傾向が明らかになったので、ECサイト上で「この商品を購入した人は、こちらの商品も購入しています」という表示をポップアップさせた。

なおビッグデータを効果的に活用するためには、上記以外にもさまざまな分析手法があります。ビジネスの増益・増収をはかるためには、世の中にはあふれる膨大な情報をどのように活用するかが今後より重要になってくるでしょう。

- *1 1000ギガバイト (GB)=1テラバイト (TB)
- *2 1000テラバイト (TB)=1ペタバイト (PB)

2017年版中小企業白書・小規模企業白書要約 (先月7月号①②③④に続く)

⑤事業の承継・M&A、撤退

- ・親族外承継の場合は、親族内に比べて資産の引継ぎ準備に遅れ。経営者後継者選定にあわせて計画的に準備を進めることが重要。
- ・また、M&Aのニーズはあるが、準備・対策は進んでいない。
- ・時間のかかる事業承継やM&Aの際の多様な課題に対し、金融機関や支援機関によるきめ細かな支援が必要。
- ・小規模企業では、廃業意向のある事業者もあり、その際、自社の事業や資産を他社に譲りたいとする者もいる。こうしたニーズを捉えた効果的なマッチングが必要。



⑥新事業展開 / 売上拡大の取り組み

- ・目指す新事業展開の戦略別に、マーケティングの取組状況によって成否に差がある。
- ・成功する中小企業は営業部門だけでなく、経営企画部門も市場ニーズの把握に取り組む傾向。
- ・小規模企業がニーズや自社の強みを把握し、PR活動に取り組む場合は、売上拡大の取り組み (新市場開拓、新商品開発、多角化、事業移転等) において高い効果を感じている。

⑦人材不足への対応 / 多様な人材、外部リソース活用の取り組み

- ・成長・拡大志向企業は中核・労働人材共に不足感が強く、中核人材の不足は、成長・拡大を目指す企業の新事業展開に影響。
- ・女性、シニア等多様な人材を活用できている中小企業は、生産性向上にもつながる業務プロセスの見える化等に取り組んでおり、収益力を向上。
- ・機械化・IT化や付加価値向上で人材不足を克服する企業も存在。
- ・成長・拡大を目指す企業では、マーケティング、デザイン等高度な人材が求められる業務でも、アウトソーシングのニーズが増大。

私たち ASK 愛知商工連盟協同組合は多くの専門家たちと連携して組合員様のおもいをサポートしていきます。社会保険、労務災害、労務協定、相続税、事業承継、起業、パワハラ、融資、求人、助成金、補助金等々、事業には様々の問題、対策がつきものです。一緒に解決しませんか。お問合せ・ご相談は ASK サポート ☎へ!